

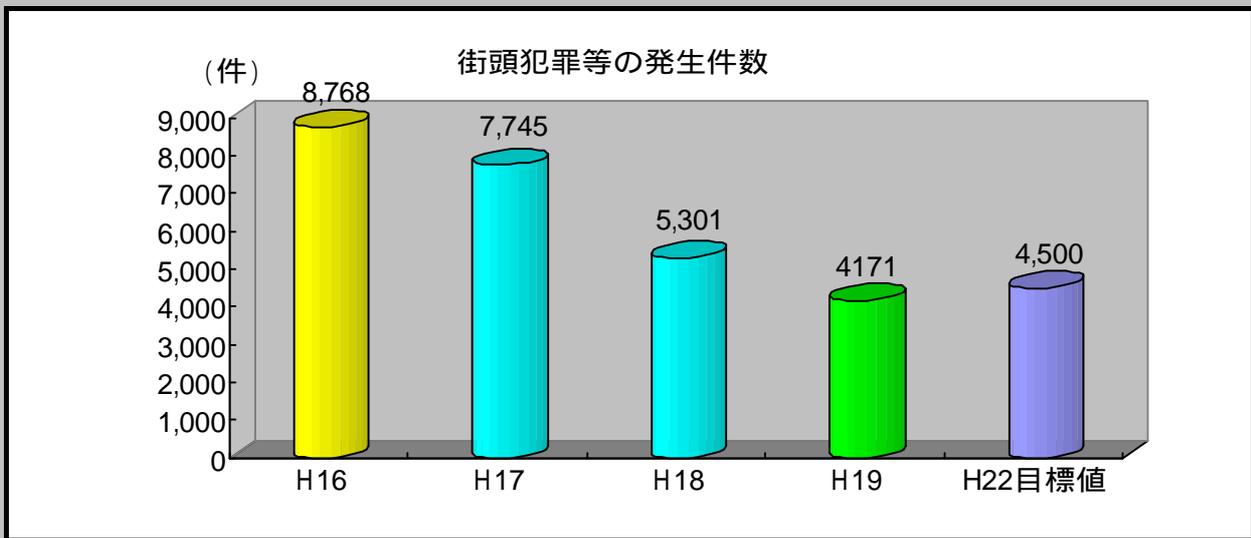
施策名	みんなで進める安全・安心まちづくり総合対策の推進
------------	--------------------------

目的（対象、意図）

警察、自治体、地域住民、ボランティア団体などが、それぞれ連携した防犯活動を行い、安全で安心なくらしが実感できる地域社会をつくっている

施策の目標

目 標 項 目	目 標 数 値 等	
街頭犯罪等の発生件数	目標値	22年
		4,500件
	現状値	19年
		4,171件



平成19年の業務ごとの取組、成果とコスト

業務の取組と成果	平成19年事業費(千円)	平成20年事業費(千円)
<p>【防犯対策の推進】 犯罪多発地区への警察力の集中投入による犯罪抑止・検挙活動、地域住民の自主防犯活動への各種支援、防犯情報・犯罪情報の発信及び犯罪多発地区におけるスーパー防犯灯等の積極的な運用など街頭犯罪等抑止総合対策を推進した結果、刑法犯認知件数は前年に比べ2,139件減少（-7.6%）、街頭犯罪等についても、前年に比べ1,130件減少（-21.3%）した。 振り込め詐欺については、発生件数403件（前年比+73件）、被害総額約3億5,800万円（前年比+約4,700万円）と増加したことから、引き続き関係機関団体との連携を図るなど、被害防止対策を推進する。</p>	175,246	169,533
<p>【地域警察活動の推進】 犯罪発生状況の分析と街頭活動の効果の検証に基づいて、情勢に応じた効果的なパトロール活動を推進した結果、街頭犯罪等は前年に比べ1,130件減少（-21.3%）したほか、地域警察官の職務質問による刑法犯検挙件数は1,196件となった。</p>	234,119	259,585

業務評価を踏まえた総括評価

・目標達成に向けた平成19年の取組と成果

県民が安全で安心して暮らせる地域社会の実現に向けて

- ・ 犯罪多発地区における街頭パトロールや検挙活動の強化
- ・ 犯罪多発地域における子ども緊急通報装置及びスーパー防犯灯等の効果的運用
- ・ 各種広報媒体等を活用した防犯意識の啓発活動

を実施したほか、

- ・ 自主防犯団体に対する青色回転灯等、防犯パトロール装備品の貸付け
- ・ 自治体と連携したセーフティライトアップ運動の展開
- ・ 犯罪情報地理分析システムを活用した犯罪発生状況・不審者情報マップの情報提供

を行うなど、地域住民、関係機関・団体等と連携した諸対策を推進した。

その結果、刑法犯認知件数(25,964件)、街頭犯罪等発生件数(4,171件)共に平成15年以降5年連続減少しており、犯罪の減少傾向の定着化に向け成果があがっている。

・残った課題とその要因

刑法犯の減少傾向は定着化しつつあり指数治安の改善については、一定の成果を挙げているものの、減少幅が小さくなっているほか、自転車盗などの一部の犯罪が増加している等、減少傾向に変化が見られる。

また、県民が不安を感じる街頭犯罪や侵入犯罪の刑法犯認知件数に占める割合は、依然として高い水準で推移している。

このことから、県民が不安を感じる身近な犯罪の抑止に向けた諸対策に重点的に取り組み、犯罪の減少傾向を一層定着化させ、県民が安全・安心を実感できる形での治安回復を図ることが重要な課題である。

・課題を踏まえた平成20年の取組み

県民の治安に対する不安を解消するため、街頭パトロールや検挙活動をはじめとする警察活動を強化するほか、犯罪情報地理分析システムを活用した自主防犯団体、地域住民に対するタイムリーな犯罪情報の提供や自主防犯活動に対する各種支援を強化するなど関係機関・団体、地域住民などと一体となって安全・安心を実感できる地域社会の実現に向けた諸対策を引き続き推進する。